

日中友好新聞

日中友好協会
愛知県連合会
県連版第341号
〒464-0821
名古屋市中千種区
末盛通4-18
電話052-763-1152
Fax 052-763-1153
http://www.
nittyu-aichi.jp
E-mail: jc77918@
amber.plala.or.
jp
郵便口座
00890-6-25484

25「新春のつどい」5年ぶり盛大に 講演・二胡演奏・民族舞踊などを楽しむ



年から5年ぶりに開催できました。初参加の方も含め約60人が参加しました。

長の上井民穂さん。森谷光夫会長は主催者あいさつで、日中友好協会と愛知県連合会の活動を紹介します。

理由」とのタイトル記事を紹介し、朗読。親切が、人生を変えることがある。

鈴鹿医療科学大(三重県鈴鹿市)の有馬寧(やすし)教授は中国出身。元の名前は「馬寧」だ。36年前、三重大大学院(津市)に留学するため来日。日本語がまだ多々話せなかつた。

このように、信頼は具体的なふれあいから生まれ、真の友好へと発展する、と来賓のあいさつ。

漫談「チャットプリン物語」(千谷家るい)は、しんみりと聴かせる人情噺で(写真左上)チャップリンの偉大さを浮き彫りにしました。

次いで、社会人女性の陸敏敏さんによる二胡演奏。はじめに愛児(写真右上)が素敵な衣装で登場し「大きな栗の木の下で」を歌ってくれました。つづいて「いい日旅立ち」「ジューピター」など4曲を独奏。弦の音で響くなじみの曲に参加者はうっとりとした聴き入りしました。

日中愛知県連主催の「新春のつどい」が2月2日、コープあいち生協生活文化会館4階ホールで20

ら日中友好運動の前進へ和気あいあいの語らいの場となりました。

司会は太極拳支部の高橋信さん(会員)は、前日の中日新聞コラム「目録」に掲載された「残った

慌てて車掌に英語で事情を伝えた。車掌は電話し、電車は山間部の真っ暗な駅で停車。降りると、懐中電灯を持った駅

多彩な日中の文化を堪能

第二部・文化交流では、桜井久美子副会長の乾杯の音頭で軽食と歓談に。

冒頭に述べたように5年ぶりの開催で、本当に久しぶりに思われぬ人と再開でき、話に花が咲きました。

また初参加の方からは盛りだくさんの内容に満足の声がかれました。

本の紹介

大西広著「反米の選択・トランプ再来で増大する“従属”のコスト」

帯宣には「日本を『途上国』にした哀退国家・アメリカを疑え！」と、かなり強烈な言葉が。

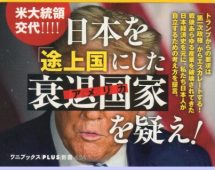
日本政府やメディアは、トランプ再登場に戦々恐々。では、バイデン＝ハリス民主党政権継続がよかったのか、と問いかげ、戦後続いてきた対米従属によって先端産業をはじめ、日本経済がつぶされてきた実態を告発。(ワニブックス PLUS 新書・950円)

大西広さんは本協会の副理事長で百科検定の中心に。本書は米大統領戦の最中に現地取材し、トランプ再選を確信して開票と同時に出版されたものです。

反米の選択

トランプ再来で増大する“従属”のコスト

大西 広



はじめの出し物は「つぶれそう一座」(代表:野崎佳史)による『三ツバエティンソー』。マジック(伽風亭つばさ)は、手作りの身近な仕掛け



開演に先立ち、立派な旗が立ちました。これは生演奏のお囃子や衣装はじめ、地元岩手の「お墨付き」の証で、大変名誉なことです。

閉会にあたり、木俣博理事長は「多くの方に参加していただき、この機会にぜひ加入して一緒に楽しみ、学習し日中友好を前進させましょう」と感謝とお願いのあいさつを述べ、お開きとなりました。

中国語教室の受講生を募集中です。一緒に楽しく中国語を学習しましょう。

でありながら、高度な技術で見終わって再度びっくり、「創作漢字」も日中のための特別企画だったでしょうか。

の会」の(菱川玲子代表)13人が、①鬼剣舞を披露(写真左)。「鬼剣舞は、大地をしっかりと踏みしめ悪霊追放を願う勇壮な踊り。今回は岩手の

の表演がありました。流れるようなゆっくらとした動作の中に、長年の鍛錬が表現され、観客も癒やされました。



また事務局次長の柳田常樹さんによる、先回行われた中国百科検定の初級問題を問う「百科検定クイズ」があり、高得点者には豪華景品が配られました。

次回「中国百科検定」は7月5日にあります。ぜひご検討ください。

2025 「名古屋春節祭」



▼第19回名古屋春節祭が1月11日から13日まで、名古屋栄の久屋公園で開催されました。暖かな日に恵まれ、多くの来場者が中国の芸能や食文化を堪能しました。

▼例年人気の「変面」は人だかりができ、なじみの羊肉串には行列ができていました。



▼在名古屋中国総領事は県知事や名古屋市長らと会場を回りながら、参加者たちと交流をしていました。

▼中国への渡航ビザが（30日間）免除になったことで、中国の航空会社などは観光誘致に力を入れて宣伝をしたり、ある会社は中国が注力している電気自動車を展示し来場者の興味をそっていました。



中国の餃子の形は、上にひだもある半月形です。皮は必ず自家製、自分で皮を作る必要工程で、日本の餃子に比べると皮に肉を叩いてつぶしたものを野菜調味料を具として詰め、ゆでたものをたれなど

中国で餃子は「水餃」（ゆで餃子）として食べるのが普通ですが、それ以外に日本で一般的な焼き餃子のように油を敷いて片面だけを焼く「鍋貼児」やたつぷりの油で焼く「煎餃」、また揚げ餃子・「油炸餃」もありま

厦門のかつての片漁村での民族文化を博物館風にしたテーマパークを見学。その中で指人形劇が面白く楽しかった、劇が終わり幕の前に出てきた、指使いの男女若者二人（写真右）が巧みに人形の扱い方を披露した、感心するし爽やかに感じた。



緑支部ニュースより転載
「前号からのつづき」
▼10月15日厦門に戻る。

日中友好協会愛知県連企画「平和と歴史の旅」 広州・福建・厦門7日間の旅行に参加して ②

石川 正之

今回の旅行は、暑くはあったがだらだらと汗が流れる程でなく、雨に降られる事はなかった。夜中には降ったようだが、お腹を壊した方が二、三人いた他は、

さらに、世界の各種のピアノを集め、今は博物館として展示（写真下）。驚くようなピアノがある、例えば子ども用に小さな物、角に置ける様にくの字に曲がった物など。ピアノを演奏するので無く、持つことが一部のお金持ちのステイタスであったのだ。



ガイドの湯さんは日中緑支部にも顔を知られている方です。いろいろ世話をしてくださる、案内も滞りなく話も分かりやすい、話に興が乗りお湯が沸騰するのではないかとヒヤヒヤする事もありました。

大きな事故などなく無事に帰れた。

- 朝霧よ 土楼の郷にたち込める
- 点心に 蒸籠のかごよあきのやま
- またいつか 旅を思い出す 空高し

- ▼ 県連・支部だよりの茶友会
2月15日・土曜日 午前10時30分から、会費1500円
- ▼ 漢詩の会
2月23日・日曜日 午後2時から（会費500円、会費無料）
- ▼ 中国語教室（水曜日・初級講座と木曜日・初級、中級、詳細）はお尋ねください

▼緑支部 3月1日（土）14時～16時：10に名古屋市長生生涯学習センターで講演会「近代満州の歴史と日本の侵略・現存する旧満州の建物を通して」講師：広中一成（愛知学院大学准教授）を開催。資料代：500円。2025年秋に中国東北旅行を計画しています。

▼熱中支部 中国映画「私は薬の神でない」を観る会を予定しましたが、

▼「上海・重慶・西安」戦跡と歴史散策の旅
三重県連が、4月20～25の6日間の中国旅行を募集しています。一般旅行社と違い、日中の仲間と行く旅行は安心安全です。愛知県連からも5人が参加予定です。まだ空きがあります。参加のご希望があれば、木俣博（参加）が取り次ぎしますので、ご連絡ください。TEL 090-1569-4534



餃子



動物の形の餃子（陝西省）

54. 中国の餃子

餃子（ギョウザ）はもともとは中国から伝わった中国料理の一つで、中国ではおかずではなく主食の一種です。で食べる中国北方の主食の一つで「水餃」と言います。具は特に決まったものはありません。好み、あるいはその時手に入っているもので作ります。日本の餃子のように具にニンニクを入れることはありません。